

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		遠野地域福祉事業所　ぐんぐんはうす					公表日	令和7年	3月	3日
		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	4	狭くても体を動かして遊べる遊びを取り入れている。（だるまさんが転んだ、人間すくろく、ピンポンキャッチ　等）	ボールを使って遊びたい児童には、柔らかいボールを使わせているが、場所を広く使うので、他の子が活動する場所が限られる。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、　職員の配置数は適切であるか。	6		2	子どもの状態に応じて、定員以上に配置することもある。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	2	おもちゃ等の片付ける場所に写真を貼って、分かりやすくしている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		2	子ども達の活動に合わせて玩具や製作材料の置き場所を工夫している。（運動遊びの場所の確保　等）				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		2	聴覚過敏だったり、不安定な児童は別室で過ごすようにしている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	2		現場会議（月1回）で確認しているが、十分とはいえない。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	4	年1回の評価により業務改善を行っている。また、日々の送迎、モニタリング、保護者交流会で、保護者の意向を把握し、改善につなげている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	3	毎日の終わりにミーティングの時間をもち、児童や支援についての情報交換を行っている。月1回、現場会議を開き、情報の共通理解を図っている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	5		外部評価を取り入れるか検討中。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		5	法人内や外部の研修の参加を呼び掛け、参加後は復命報告を行っている。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	2	5		これから公表予定			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		4	市の子育て支援課、専門相談員と連携してアセスメントを行っている。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	4	モニタリングの前後で、ケース会議をもって、支援内容を考えている。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか　。	4		4					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		5	6ヶ月毎のモニタリングの機会にフォーマルなアセスメントを行い、日々のミーティングで児童理解を図るようにしている。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		5	支援プログラムをもとに、必要な項目を適切に設定している。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	3		それぞれのスタッフの得意を生かして担当を決め、立案するようにしたい。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	3	児童の興味関心を生かして、自主的に活動できるように、遊具、製作材料・道具を準備している。				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	4		集団活動に積極的でない児童の活動内容を考えていきたい。			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		3	5		パート職員の出勤時間がばらばらであるため、常勤だけの打合せになっているので、パート職員への伝達を徹底したい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		2	提供記録の他に、支援後の打合せで出た情報を業務日誌に記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		3		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	6		2	支援プログラムに盛り込んでいる。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		4	児童の興味関心を生かして、自主的に活動できるように、遊具、製作材料・道具を準備している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		3		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	4	就学前の保育園を訪問し、児童の様子を観察したり、保育士から情報を得たりしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	4		まだ卒業生はいないが、情報を提供する準備はできている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		4	会議や研修会には、積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			毎日の送迎で保護者に子どもの様子や健康状態を丁寧に説明するようにしている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	3	年2回の保護者交流会で、保護者に必要な情報を提供するようにしている。	ペアレントトレーニング等、外部講師を依頼しての研修も検討したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		4		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	4	契約時に丁寧に説明したり利用開始1か月以内にモニタリングを行い、保護者の要望を取り入れてサービス内容を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		4	6ヶ月毎のモニタリング時に同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		4	相談支援専門員と連携して、保護者の悩みを解決する機会を持った。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		2		保護者交流会を開催しているが、参加する保護者が固定化しており、参加者を増やす工夫が必要。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		4	苦情はまだないが、あった場合に対応する準備はできている。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		2		定期的に通信を発行しているが、地域の有線テレビの活用も考えたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		2		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		3		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	5		コロナ前は、地域懇談会を実施していたが、以降は行えていないので、実施を検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4	2		マニュアルを保護者に周知するのは十分ではなかったので、周知したい。 児童の施設内の避難訓練は行っているが、場所を移動しての訓練は行っていないので、行いたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		3	非常災害用の物資は準備している。	職員の対応訓練を行いたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	2		服薬は確認しているが、予防接種の実施は口頭で確認するのみだったので、記録しておきたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	3		アレルギーで医師の指示書をもらっている児童はいないが、いた場合は職員で情報共有したい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		4		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3	4		契約時には確認しているが、定期的に確認していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		1	小さなことでもスタッフ間で共有し、対策を考えるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		身体拘束、虐待防止、感染症予防の講習会を事業所内で開いている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	3	身体拘束をする場合やした場合は保護者に知らせることを、モニタリング時に保護者に説明し、了承を得ている。	